

SAJ Division3 地域連携強化 コンソーシアム 事業推進に参画



2月 秋田 田沢湖合宿(WC観戦)

2019年8月より、SAJは日本スポーツ振興センター委託事業「アスリートパスウェイの戦略的支援事業」として「SAJ Division3 地域連携強化 コンソーシアム 事」を開始しました。

今回、広島県スキー連盟では本件に対して広島県と連携共同実施する意向を伝え、北海道(美深町)、福島県と共に本事業を開始する事となりました。

本事業は、SAJ Divi3の種目である「モーグル」と「エアリアル」における適性を見極め有能な子供たちを育成し、ナショナルチーム(強化指定選手)入りを目指すプログラムです。

2019年12月15日(日)にめぐらスキー場及び、もみのき森林公園にて雪上及びフィジカルチェックなど競技適性選考会が開催されました。



募集開始から準備期間が 12月15日 選考会 めがひらスキー場少ない中、県庁スポーツ推進課、県体育協会に協力を頂き、スキークラブはもちろん、県体操協会、県トランポリン協会、県内スポーツショップ、スポーツ量販店など幅広く情報を拡散し募集をした結果、15名の選手が集まりました。

当日はモーグル元日本代表、2007-2008ワールドカップ総合優勝の上村愛子さんをはじめ、元オリンピック代表 遠藤 尚さん(現日本ナショナルチームコーチ)、元オリンピック代表 逸見佳代さん(現ナショナルチームコーチ)に直接指導、選考頂きました。

参加選手は、小学校4年生～中学3年生まで幅広く選手が集まり、その中からスキー経験者やトランポリン・体操など、他スポーツ経験者まで男女4名ずつの計8名(モーグル5名、エアリアル3名)の選手が1次選考に合格しました。



1月 合宿(北海道・美深町)



フィジカルテスト

活動は毎週1回を基本に、月1回の合宿を行い、来シーズン終了までの1年半の計画で推進しています。

雪の無いシーズンでしたが、12月の選考会からめぐらスキー場や、八幡ハイランド191スキー場などに協力を頂き毎週1回の広島での雪上トレーニングを行う事が出来ました。

1月には北海道(美深町)合宿、2月北海道(美深町)合宿(エアリアル)や、秋田・田沢湖WC観戦など北海道、福島県の選手と一緒にの合宿に参加し、ナショナルチームコーチから直接指導を受けるなど、質の高い指導を受ける事が出来ました。特に2月の美深エアリアル合宿では朝-26℃(お昼で-15℃)と本物の寒さも経験しました。

また、ナショナルチームのフィジカルトレーナーからの直接指導も受け、フィジカルトレーニングも充実しています。

今回は3名のエアリアルの選手も頑張っています。エアリアルは空中回転などの特殊な競技性があり、トランポリンや体操などアクロバティックな競技からの参加を募った結果、他競技からの選手を迎え入れる事が出来、お互いの競技の幅を広げるキッカケになったと感じています。雪ない県からのエアリアル選手誕生を期待しています。



2月 エアリアル合宿(北海道・美深町)

3月以降、新型コロナウイルスの影響で、活動自体は停止中となっていますが、各自自主トレで体づくりを頑張っています。

4月からはLINEでのビデオ通話を利用し、5月からはナショナルコーチとZoomを利用しオンライントレーニングが始まりました。他県の選手と一斉に繋げ、一体感のあるオンライントレーニングは、選手の刺激になっている様です。

すでに活動停止から5か月が経とうとしており、一刻も早い活動再開を願っています。本事業は非常に高い目標ではありますが、選手・スタッフ一丸になって取り組み、選手の実感と結果に繋がりたいと思っています。

そして、本事業を通してジュニア育成の土台をしっかりと構築し、これから先のスノースポーツファンの拡大につなげてまいります。



合宿での1コマ

2月 秋田・田沢湖合宿
上村愛子さんからの直接指導ワールドカップコースでの
トレーニング